

# 令和2年度 学習評価説明会

令和2年9月29・30日 上賀茂小学校

# 新しい学習指導要領スタート



多様性への理解や主体性、  
問題解決能力の育成

# 育成すべき資質・能力の3つの柱

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

# 学習評価の基本的な枠組み

学習指導要領に示す目標や内容

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

観点別学習状況  
評価の各観点

- ・観点ごとに評価し、生徒の学習状況を分析的に捉えるもの
- ・観点ごとにA B Cの3段階で評価

知識・技能

思考・判断・表現

感性、思いやりなど

主体的に学習に取り組む態度

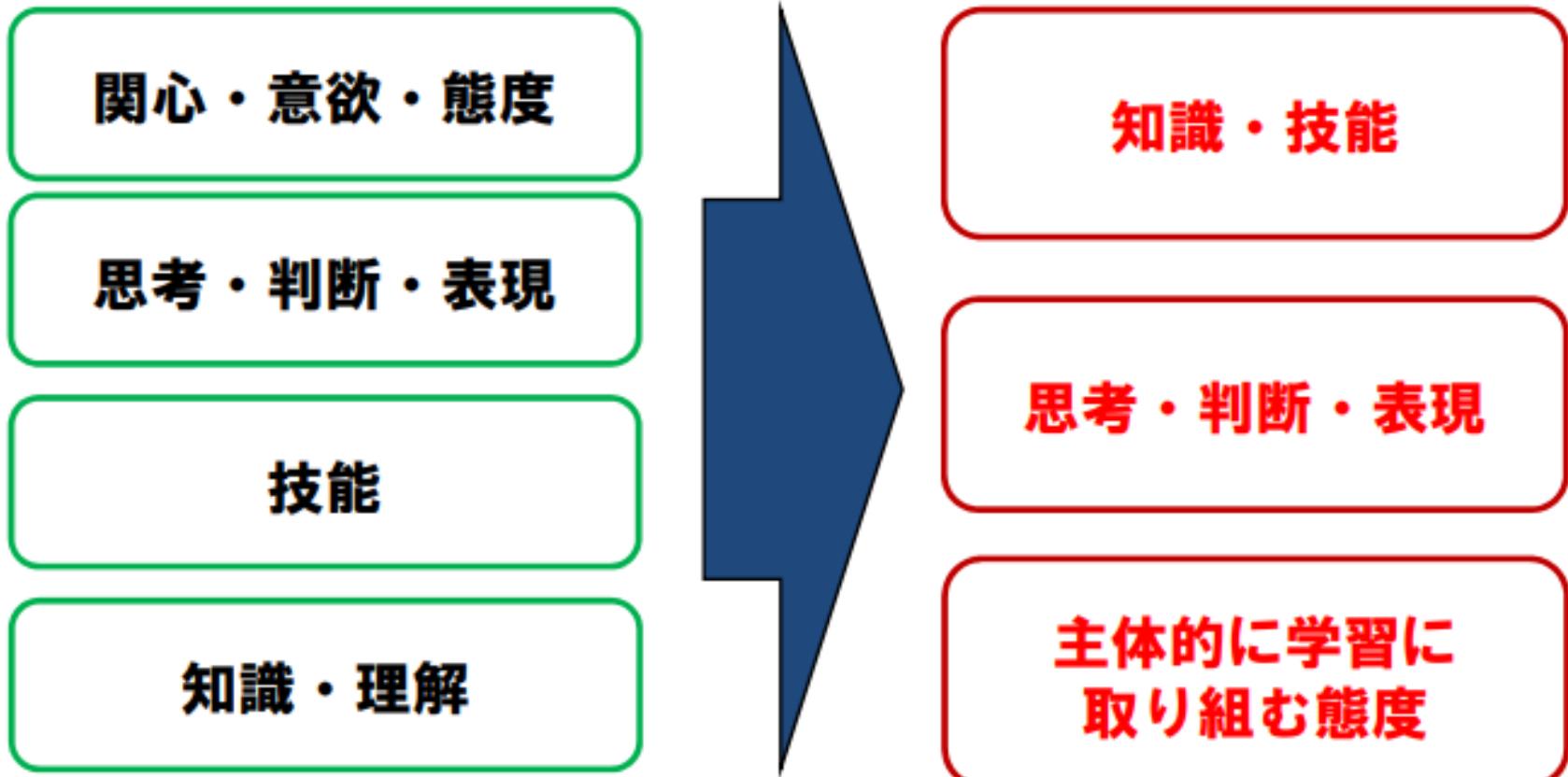
評定

個人内評価

- ・観点別学習状況の評価の結果を総括するもの。
- ・5段階で評価（小学校は3段階。小学校低学年は行わない）

- ・観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの。

# 評価は4観点から3観点へ



# それぞれの観点の評価について

## 「知識・技能」

○個別の知識及び技能の習得状況について評価する。

○それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

# それぞれの観点の評価について

## 「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

それぞれの観点の評価について

## 「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

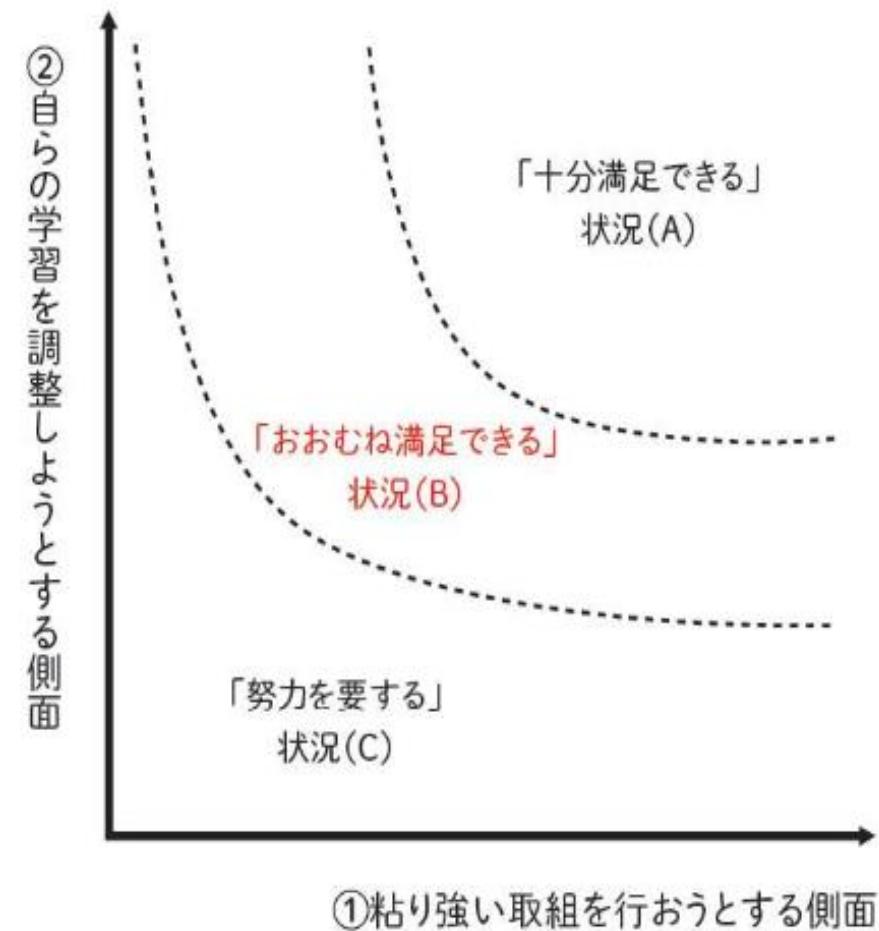
# それぞれの観点の評価について

## 「主体的に学習に取り組む態度」

「自らの学習を調整しようとする側面」とは

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面のこと。

評価に当たっては、児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫をしたり、他者との協働を通じて自らの考えを記述したり話し合ったりする場面や自らの考えを相対化する場面を、単元や題材などの内容のまとまりの中で設けたりする。



## 学習のようす

【観点】①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

# 評定について

## 3観点における評定のあり方

評定 3	AAA	AAB		
評定 2	ABB	BBB	A BC	B BC
評定 1	ACC	AAC	CCC	BCC

A・・・「よくできる」

B・・・「できる」

C・・・「がんばろう」

## **その他の評価について**

### **「特別の教科 道徳」**

通知票への記載は学年末

### **「外国語活動」**

3・4年は学年末に記載

5・6年は3観点で評価

### **「総合的な学習の時間」**

3つの柱に即して記述する

本日はありがとうございました